

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日本生命保険相互会社		住所 〒 541-8501 大阪府大阪市中央区今橋3丁目5番12号						
本票作成	部署名: 不動産部 不動産業務管理G								
主たる業種	分類コード	87	業種名: 協同組合(他に分類されないもの)						
事業の概要	生命保険業(免許に基づく保険の引受けおよび資産の運用)および付随業務 (他の保険会社その他金融業を行う者の業務の代理または事務の代行等)								
県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地						
	①	日本生命岡山第二・新館ビル	岡山市北区下石井1-1-3						
	②	ニッセイ岡山スクエア	岡山市北区下石井2-2-5						
	③	ニッセイ岡山幸町ビル	岡山市幸町7-33						
	④	倉敷支社	倉敷市阿知3-9-1						
	⑤	倉敷シティ営業部	倉敷市中島小溝2633-5						
	⑥	日本生命津山ビル	津山市大手町4-1						
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kL以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 28所 ●車両台数(②該当の場合) 台								
温室効果ガス排出量	基準年度(令和5年度)	(令和6)年度排出量	目標年度(令和6年度)						
	2,593 t CO ₂	681 t CO ₂	2,567 t CO ₂						
	番号	工場等の名称	(令和6)年度排出量						
	①	日本生命岡山第二・新館ビル	45 t CO ₂						
	②	ニッセイ岡山スクエア	143 t CO ₂						
	③	ニッセイ岡山幸町ビル	0 t CO ₂						
	④	倉敷支社	65 t CO ₂						
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和6)年度排出量						
	⑤	倉敷シティ営業部	36 t CO ₂						
	⑥	日本生命津山ビル	38 t CO ₂						
	削減目標の達成状況	計画期間: 令和6年度 ~ 令和6年度 (1箇年度)							
		<input type="checkbox"/> 総排出量基準 (6)年度削減実績	目標削減率	目標達成					
		<input type="checkbox"/> 原単位基準 73.7 %	1.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達					
		(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 延床面積(52,457.06m ²) ※年度途中における取得・売却等の場合は、延床面積に使用月数÷12ヶ月を乗じた数字。	原単位当たり排出量 <table border="1"> <tr> <td>基準年度</td> <td>(6)年度</td> <td>目標年度</td> </tr> <tr> <td>0.050 t CO₂/(m²)</td> <td>0.013 t CO₂/(m²)</td> <td>0.049 t CO₂/(m²)</td> </tr> </table>		基準年度	(6)年度	目標年度	0.050 t CO ₂ /(m ²)
基準年度	(6)年度	目標年度							
0.050 t CO ₂ /(m ²)	0.013 t CO ₂ /(m ²)	0.049 t CO ₂ /(m ²)							
(該当事業者のみ記入)									
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和6年度)						
			達成率等						
【削減状況の自己評価】 引き続き、投資用・営業用(自社使用)ビルにおいて、照明間引きや減灯、空調設定温度の適正化の取組とともに、投資用ビルの入居テナントへの省エネ協力依頼等を行った。また、日本生命岡山第二・新館ビル及びニッセイ岡山幸町ビルについては、2023年10月より、ニッセイ岡山スクエアビルについては、2024年4月より、中国電力との契約をメニューC(排出係数: 0t-CO ₂ /kWh)に変更している。 R5年度中に廃止予定であった1ビルが継続使用となったこともあり、原油換算エネルギー使用量は基準年度(R5)実績より4.1%増加し、1,136kLとなっている。なお、温室効果ガス排出量については、今年度より「国が公表する電気事業者ごとの排出係数」において、メニュー別の排出係数が採用されたことから、二酸化炭素排出量が基準年度比73.7%減少し、原単位当たりの排出量についても、基準年度比73.7%減少した。 今後も省エネ・温室効果ガス削減に努めていきたい。 (延床面積: 基準(R5)年度: 52,429.48m ²) (延床面積: R6年度: 52,457.06m ²)									

【推進体制】

本社不動産部を中心とした推進体制のもと、計画的な設備更新、運用面での省エネルギー対策及び入居テナントへの省エネルギーに対する協力依頼を実施。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
①日本生命岡山第二・新館ビル	(令和6年度実施分) ①・2023年10月より、中国電力の契約をメニューC（排出係数：0t-CO ₂ /kWh）に変更し、引き続き継続している。 ・共用部通路照明の半灯 ・トイレ便座保温温度と洗浄温水温度の適正化 ・自動販売機の消灯 ・専用部の不要照明消灯や空調設定温度の適正化
②ニッセイ岡山スクエア	②・2024年4月より、中国電力の契約をメニューC（排出係数：0t-CO ₂ /kWh）に変更している。 ・1階エントランスや屋上の照明消灯及び各階エレベータホールの半灯 ・1階エントランスの空調停止 ・トイレ便座保温温度と洗浄温水温度の適正化 ・自動販売機の消灯 ・専用部の照明間引きや空調設定温度の適正化
③ニッセイ岡山幸町ビル	③・2023年10月より、中国電力の契約をメニューC（排出係数：0t-CO ₂ /kWh）に変更し、引き続き継続している。 ・共用部通路照明の半灯 ・1階エントランスの空調停止 ・トイレ便座保温温度と洗浄温水温度の適正化 ・自動販売機の消灯 ・専用部の照明間引きや空調設定温度の適正化及び不要空調の停止
(今後実施予定分) ①全事業所	(今後実施予定分) ①・照明の減灯や間引き ・空調設定温度の適正化 ・未使用機器の待機電力抑制 ・パソコンの省エネ設定 ・入居テナントへの省エネ協力依頼

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内で の取組	有	県内7箇所で森林づくり事業を行っている。令和元年9月にはニッセイ加茂川の森における育樹（除伐・間伐）作業を実施する等、計画的に育樹作業を行っている。
その他	有	ニッセイ緑の財団とともに1992年から森づくりに取り組んでいる。これまでに植えた苗木は138万本を超え、“ニッセイの森”は47都道府県の207カ所（約475ha）に拡がっている。 また、緑化への取組を積極的に行っており自治体と協力し、植樹・育樹へも力を入れている。

【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	無	
その他	有	大阪府：ロジスティクスセンター東大阪 太陽光発電パネルを設置(197kW:令和2年度設置) 埼玉県：埼玉川口オフィス、狛島オフィス 太陽光発電パネルを設置（令和3年度設置） 埼玉桶川オフィス、大阪玉出オフィス、愛知知立オフィス 太陽光発電パネルを設置（令和4年度設置）

【その他特記事項】

・直近の3年間の原油換算エネルギー使用量は、継続して1500kL未満となっている。（下記参照）
今後も、現状レベルを維持できる見込みであることから、令和7年度以降の「温室効果ガス排出削減計画書」については、作成しないこととしています。

【原油換算エネルギー使用量の推移】

- ・令和4年度：1,296kL
- ・令和5年度：1,091kL
- ・令和6年度：1,136kL